



学生ので酒田まつりの未来を切り拓こう！

佐藤航志、村上優太、和根崎悠平、野尻大輔

背景・目的

昨年度の酒田まつりの運営に携わり「色褪せない伝統」という魅力を知ると同時に「継承先の減少に伴う断絶」という課題があることを知った。そこで、まつりの中で学生を主体とした新たなイベントを行うことで、酒田市の発展に繋がると同時に、人々のまつりに対する認識が変わり、興味を抱いてくれる人が現れると思った。

すでに分かっていること

- ・まつり参加者の**人員不足**
- ・若い世代を巻き込んだ宵まつりが**好評**
- ・活動を伝えるための**宣伝方法**が重要

仮説

酒田まつりが「小・中・高校生が主体的なまつり」になることで、人々のまつりに対する**価値観が変わり**、酒田市の地域おこしにつながるのではないか。

活動内容

- ①前回より早めに高校生の酒田まつりの「担い手」募集をおこなう →現時点で**35人**集まる(去年の**3倍**)
- ②宵祭りで行うこと、それに向けての宣伝方法などの決定(鋭意検討中)
- ③飽海地区の高校に対し「担い手」募集を行う →**主な研究方法**
1.**Google classroom**
2.**Instagram** 3.**ポスター** など
- ④小、中学校にイベントの参加についての呼びかけをおこなう
- ⑤本番に向け全力でおこなう！

実際の話し合いの様子



イベントの内容

宵まつりの意義に基づき**学生で企画**
⇒訪れた人々へ、伝統芸能や本まつりを楽しんでもらえるような**最高のおもてなし**をする！

考察

歴史を踏まえた**学生主体の企画**を行うことで、まちづくりの起点になるのではないか
⇒まつりの伝統+学生ならではの視点
⇒**幅広い年代が楽しめる**のではないか

今後の展望

- ①宵まつりの**イベント最終決定**
⇒酒田青年会議所での定期的な話し合いで決定
- ②学生が参加しやすい**身近なまつり**を目指す
⇒「担い手」募集をきっかけに課題を解決する**好循環**に繋がるのではないか
(酒田青年会議所と共に考案)

協力してくれた方々

- ・酒田青年会議所 ・岡部信彦宮司さん
- ・高校生ボランティア ・久木原満さん